

Do you ^{know} 農林業? / 人と自然が好きになる農林業キャンプ in いわき三和 & 田人

1 農林業体験ツアーを開催

9月2日(土)から3日(日)の2日間、県内外の大学生等を対象に、いわき市三和町・田人町で1泊2日の体験ツアーを実施しました。農林業体験や地域の方との交流を通して、中山間地域の暮らしや魅力、課題への理解を深めるとともに、新たな関係・交流人口の創出につなげることを目的としています。

当日は、県内外の7大学(東日本国際大学、会津大学短期大学部、学習院大学、拓殖大学、相模女子大学、淑徳大学、東北福祉大学)から11名の学生が参加し、農業・畜産体験や木工体験、フィールドワーク、じゃんがら念仏踊り鑑賞などを通して、地域の方々と交流を深めました。

【1日目】三和地区

◆牛のブラッシング体験 @草野畜産

草野さんから繁殖農家の仕事や牛に関する説明を受け、牛の血統書や精子の保管タンクを見せてもらいました。

牛のブラッシング体験で使ったのは、手のひらよりも大きいブラシ(猪の毛で出来ているそう!)。毛並みに沿ってブラッシングすると、牛の目が気持ちよさそうにとろんとしていました。参加者は、優しく声をかけながらブラッシングしたり、なでたりしていました。

草野純一さん(草野畜産)

繁殖農家として、生後8ヶ月まで育てた子牛を出荷しています。また、いわきのサンシャイントマトを母牛に与えて育てた「サンシャインマザービーフ」の肥育も行っています。



◆昼食・じゃんがら念仏踊り鑑賞 @旧上三坂公民館

三和町の生産者が作った「かあちゃんの弁当」に加え、地域のお母さん方が作ったおかずや汁物もいただきました。

昼食後は、じゃんがら念仏踊りの鑑賞。上三坂じゃんがら念仏保存会の代表による取組の説明の後、演奏が始まりました。

太鼓や鐘を叩きながら真剣な表情で踊る踊り手を、参加者も、食い入るように見つめていました。



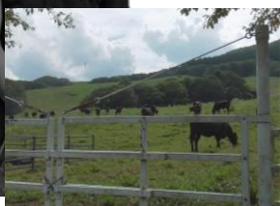
菊田清貴さん

地域おこし協力隊として三和町に移住し、地域の特産品として「かぼ茶まんじゅう」を開発しました。現在はかぼちゃ、小豆に加え、「ふくしまハートにんにく」を生産しています。

◆三和町フィールドワーク・農業体験 @三和町内

バスガイドは菊田さん。市営芝山牧野で途中下車したところ、運良く十数頭の牛を眺めることができました。牧野をバックに、記念写真を撮影する参加者もいました。

再度バスに揺られ、かぼちゃほ場に到着。菊田さんが地域のお母さん方と作る「かぼ茶まんじゅう」に使うかぼちゃを、1人1つ収穫しました。その後、小豆ほ場の草刈りを行い、農業体験は終了。参加者は汗を流しながらも、時々吹く風で涼みつつ作業していました。



◆夕食交流会・宿泊・朝食 @ハツシュ村

宿泊するテントを班ごとに設営した後は、待ちに待った夕食交流会。地元食材で BBQ を行いました。夕食交流会には、菊田清貴さんやトマト農園で研修中の北原拓実さん（助川農園）、高橋正行さん（磐城高箸）にも参加していただきました。

夕食の後は、広場でたき火を囲みながらの交流会。参加者は、満月の下たき火を囲んで、ツアーに参加したきっかけや将来のことを語り合っていました。

翌日は、朝食バイキングからスタート。釜炊きごはんや「かあちゃんのお弁当」の生産者さんお手製のおかず、ハツシュ村こだわりのごはんのお供が並びました。



【2日目】田人地区

◆地域の生活道路の環境整備 @田人町内

田人ワークキャンプ・ビレッジから整備現場まで、歩きながら下條さんの活動について伺いました。

本日の作業は、道の環境整備です。現場に着いたら、各自スコップを持って作業開始。ワークキャンプのため滞在中の早稲田大学の学生6人も、一緒に活動しました。皆汗だくになりながら協力して土砂を取り除きました。



最初は道の片側が土砂で埋まっていましたが、約1時間の作業後には、白線も現れ、車がすれ違える程度の道となりました。参加者は達成感を感じた様子でした。



下條真輝さん（田人ワークキャンプ・ビレッジ）

地域おこし協力隊として田人町に移住し、ワークキャンプ（宿泊型ボランティア）の拠点を立ち上げました。現在は小学生を対象とした自然体験教室など、交流人口拡大のために活動しています。

◆昼食・施設見学 @磐城高箸

田人の古民家カフェ「HITO-TABI」のお弁当に加え、木工体験でご協力いただいた豊田さんから、地元野菜のお漬物やおかずの差し入れもありました。お弁当は、特産品の「田人こんにやく」入り。

田人こんにやくに関する詳細は、右の二次元コードからご覧ください。



昼食後は、磐城高箸の施設見学。高橋さんの案内で、割り箸や鉛筆の生産工程を見学しました。参加者は、



機械を間近で眺めたり実際に木材に触れたりしていました。

高橋正行さん（磐城高箸）

廃校となった小学校の校舎に工場を構え、割り箸や鉛筆など、間伐材を使用した製品を生産しています。校舎内の見学は自由。メダカの販売など行う「メダカの学校」（別企業）もあります。



◆鉛筆削り・杉玉作り

磐城高箸の教室内で鉛筆削り、校庭で杉玉作りを体験。

鉛筆削りの講師は高橋さん。鉛筆の芯入りの角材を、小刀で自分好みの形や太さに削ります。参加者は黙々と小刀を滑らせ、オリジナルの鉛筆を作っていました。

杉玉作りの講師は豊田さん。杉の葉を丸めた芯に、八寸釘で穴を開け、杉の葉を刺していきます。最後に形を整えるようにカットして完成。参加者は、全体のバランスを見ながら葉を刺していき、様々な大きさの杉玉を作っていました。

豊田新一さん（豊田林業）

豊かな森林に囲まれた田人町で、造林や素材生産事業のほか、田人産の木工製品の製作を行っています。また、木工教室など、子どもたちへの教育活動にも携わっています。



◆振り返りワークショップ

下條さんを講師に、「三和・田人地区をより魅力的に見せることができる事業」について班ごとに考えました。各班には早稲田大学生も加わり、ツアーの内容を振り返りながら話し合いを進めていました。

聖地巡礼・キャンプツアー

- ・映画やMVの舞台になった場所を巡りながら、地元食材を味わう
- ・BBQや川遊び、テントサウナや夜空の星を楽しむ

いわき満喫ツアー

- ・インスタ映えする夜空の星を見たり、地元食材を収穫してBBQを楽しむ
- ・「種まきや定植」と「収穫」の2回実施（関係を持続させる）

同姓ツアー

- ・田人に多い姓（例：緑川さん）が全国から参加できる
- ・家系図を持参して先祖をたどる
- ・ネパールに伝わる同姓の人が参加する祭りから着想を得た

空き家リノベーションツアー

- ・田人に多い空き家を、海外の方向けのゲストハウスにリノベーションする
- ・何度か作業に来て、じゃんがら念仏踊りや地域の祭りに参加
- ・キャンプやテントサウナ、川遊び、夜空の星も楽しむ



2 参加者の感想(一部抜粋)

普段体験することのない牛のブラッシングができて面白かった。牛の可愛さに気づくことが出来た。また畜産農家の方がとても気さくでまた来たいと思った。

かぼちゃの収穫は初めてやったので楽しかった。雑草拔きは爽快だった。普段の畑で小豆を見ることは無かったため、花が黄色でかわいいな、葉っぱはこんな形なんだと色々気づくことが出来た。

虫の声を聞きながらテント設営やBBQをするのは最高だった。また、今日出会った方々とお話したのは、どれも新鮮でとてもいい経験になった。

自然豊かでいい所だなと感じる反面、自分たちで整備しなければいけない道路がある問題などを抱えていることに気づくことが出来た。終わった時の達成感といい汗をかいた経験は忘れないと思う。

廃校は全国の地域が抱える課題で、貢献されている方のお話や現場を見て大変勉強になった。また、鉛筆削りや杉玉作りなど、ここでしかできない、かたちに残る体験ができて、いい思い出になった。

様々な角度からいわき市の良さについて考えることができたし、新しく知ることができた。他のチームの発表を聞いて、もしこのようなツアーがあったら是非参加したいと思った。

3 おわりに

本ツアーに参加いただいた学生の皆さんや、参加者を温かく受入れ、ご協力いただいた三和町・田人町の皆さんに、改めて御礼申し上げます。

学生の皆さんが、今回のツアーで出会った方や経験についてSNS等で発信したり、三和町・田人町に足を運び、地域の方々との交流が継続されることを期待しています。

